

## 平成29年度 社会福祉法人能生名立福祉会 事業計画

### 1. 理念

#### (1) 法人理念

**“当法人は、働く人を幸せにするためにある。”**

- ・働く人が幸せになってこそその法人であり、幸せであってこそ良い生活支援ができる。さらに、よい生活支援を通じて、地域貢献ができる。(但し、利用者の犠牲のうえに成立してはならない。)

#### (2) 経営理念

**“信頼と誇り”**

- ・利用者の皆様の信頼、ご家族の信頼、地域の信頼を得るとともに、職員同士の信頼関係がよりよい生活支援を生む。
- ・専門職としての誇り、施設への誇り、法人への誇りが持てる職場づくりをする。

#### (3) 生活支援理念

**“あなたの笑顔こそが私たちの喜びです。”**

- ・職員の喜びであるとともに、法人の職員へのメッセージでもある。

#### (4) 人事理念

**“質の高い生活支援は、質の高い職員から提供される。”**

- ・特にその場で提供され消費されてしまうケアの質は、質の高い職員が担保することから、いい人材の確保と人材育成の体制を整備する。

### 2. 基本原則

- (1) 私たちは、利用者の皆様の基本的な人権を尊重し、その人らしさを大切にします。
- (2) 私たちは、地域社会とのつながりを大切にし、地域の皆様から必要とされる施設を目指します。
- (3) 私たちは、利用者の皆様の満足が職員の満足となり、職員の満足が施設の満足となる法人づくりを目指します。

### 3. 行動指針

- (1) 私たちは、利用者の皆様に職業的に接するのではなく、まず人として接することを心がけます。
- (2) 私たちは、“利用者のために”ではなく、“利用者の立場”になって考え行動することを心がけます。
- (3) 私たちは、気づく力を大切にし、常に専門性の向上に努め、安全で安心な生活支援の提供を心がけます。
- (4) 私たちは、利用者の皆様の様子を説明する機会を多く持ち、ご家族との連携を密にし、信頼関係が築けるよう心がけます。

- (5) 私たちは、施設の開放はもとより人材を地域に広く開放し、「資源としての施設」として地域の皆様から信頼されるよう心がけます。
- (6) 私たちは、常に自己研鑽に励み、福祉の専門職として資質向上を常に心がけます。

#### 4. 生活支援方針

- (1) 私たちは、施設が利用者の皆様の生活の場であることを念頭に置き、常に快適な生活の場であるように努めます。
- (2) 私たちは、介護・看護が一方的になっていないか常に自己点検を行い、批判については謙虚に受けとめます。
- (3) 私たちは、介護・看護にあたり、なぜそのことが必要なのかの理由（エビデンス）を説明できるように努めます。
- (4) 私たちは、利用者、家族からの苦情・意見等に対しては誠意を持って適切に接し、是正・改善に取り組みます。

#### 5. 中期計画

##### 【ビジョン】

- ・法人への信頼を築きあげる。
- ・人を大切にし、人が育つ法人をつくる。
- ・利用者の皆様の安全・安心のため、最善を尽くす。

##### (1) ハード面

- ① 機械設備の点検等を定期的に行うことにより異常を早く見つけ、故障を少なくし耐用年数を少しでも延ばす。

##### (2) ソフト面

- ① 安全で安心な生活支援の提供を基本とする。
- ② 利用者の皆様が、居心地の良い施設を目指す。
- ③ 利用者の皆様の自立を促すことにより、介護の負担を軽くすることを心がける。
- ④ 法人の目指しているものと職員のマインドを合わせる研修を実施し、帰属意識の高い職員の育成を行う。

#### 6. 事業計画

重点目標「“ありがとう”がたくさん集まる職場をつくりましょう。」

##### (1) 社会福祉法人 能生名立福祉会

- ① 長期的展望に立って財務分析を行い、経営の安定を図る。
- ② 職員の資質の向上のため、外部研修に積極的に参加するとともに、内部研修も充実し職員の意識を高める。
- ③ ボランティア団体等との連携や学校等との交流を積極的に図り、地域のなかの施設としての役割を一層充実させる。

- ④ 利用者の皆様の安全・安心のため、最善を尽くす。
- ⑤ 職員間のコミュニケーションを図り、人材の定着につなげるため、サークル活動に助成する。
- ⑥ 地域社会への貢献として、各地区のサロン活動に対して助成する。
- ⑦ 能生地区に障害者の就労支援施設が建設されるが、運営について法人として取り組む準備を行う。

## (2) 特別養護老人ホーム おおさわの里

重点目標「安定した収入のため、空床を少なくする。」

### <あやめ棟>

- ① 目 標
  - ・利用者の皆様が笑顔で過ごせるように、責任あるケアに努める。
- ② 実施計画
  - ・「ほうれんそう（報告・連絡・相談）を徹底する。
  - ・職員同士の信頼関係を築き、働きやすい環境づくりに取り組む。
  - ・思いやりの気持ちを持ち、その人らしさを大切にする。

### <かえで棟>

- ① 目 標
  - ・利用者の皆様への尊厳を大切にし、利用者の皆様とご家族にも、常に安心・安全を念頭に置き、何でも言える関係性を保ち、穏やかに過ごしていただけるように努めます。
- ② 実施計画
  - ・職員一人ひとりが自信とプライドを持ち、利用者の皆様にケアを行います。
  - ・他部署、他職種との連携を大切にし、「助け合い、思いやりの心」を忘れません。
  - ・職員間で意見や提案を言い合えて、それを柔軟に受け入れ向上していける関係・環境づくりをする。

### <すみれ棟>

- ① 目 標
  - ・利用者の皆様とご家族の気持ちに添えるケアに努める。
  - ・情報伝達・共有をしっかりと行い、職員のチームワークを高める。
- ② 実施計画
  - ・利用者の皆様の個々のペースや思いを大切にする。
  - ・利用者の皆様の状態に応じて、柔軟な対応を心がける。
  - ・定期的にユニット会議を行い、コミュニケーションを図る。

### <さくら・ゆり棟>

#### ① 目 標

- ・利用者の皆様が安心して日々過ごせるように、生活支援を行う。

#### ② 実施計画

- ・情報や目的を話し合える場を設け、ケアの方向性を明確にする。
- ・細かなことに気づく力をつける。

### <さつき棟>

#### ① 目 標

- ・利用者の皆様の状態、ニーズをしっかりと把握し、安心して快適に過ごしていただけるように環境を整える。
- ・職員同士、利用者の皆様同士のコミュニケーションを大切にし、毎日の生活のなか  
に楽しみを持てるよう気持ちに添ったケアを行う。

#### ② 実施計画

- ・統一したケアができるようにユニットケアの理解を進め、利用者の皆様のニーズを把握しスムーズに情報の共有・伝達ができる体制をつくる。
- ・各職員がゆとりを持ってケアに取り組めるよう、必要に応じて業務の見直しを適宜行う。
- ・利用者の皆様と日々コミュニケーションをとり、よりよいケアにつなげる。

### <わかば棟>

#### ① 目 標

- ・利用者の皆様の希望を取り入れ、今までの生活が継続できるように、一人ひとりに合わせたケアを行います。

#### ② 実施計画

- ・施設の理念、ユニット型のコンセプトを忘れずに、仕事に取り組みます。
- ・他部署、他職種と連携し、「助け合いの心」を忘れません。
- ・職員一人ひとりが自主的に考え、仕事に取り組み、責任感をもって行動します。

### <あかね棟>

#### ① 目 標

- ・利用者の皆様が「暮らしの継続」ができるように、24時間シートを活用しサポートをしていく。

#### ② 実施計画

- ・気づく力を大切にし、利用者の皆様の気持ちに寄り添います。
- ・利用者の皆様が、信頼・安心して過ごせるよう努めます。

- ・平常心を忘れません。

### <生活相談員・介護支援専門員>

#### ① 目 標

- ・利用者の皆様の立場になり、日々を快適に過ごせる環境や楽しみのある生活、安心できる雰囲気をつくっていく。

#### ② 実施計画

- ・各ユニットを回り、利用者の皆様や職員の声を聞く。
- ・職員の個別面談の機会を定期的に設け、行っていく。
- ・職員研修スケジュールを作成し、実施する。
- ・利用者の皆様やご家族の気持ちを受けとめ、共有する。

### <看 護 課>

#### ① 目 標

- ・看護師間及び他職種との情報交換を密にし、安全で適切な看護を提供する。

#### ② 実施計画

- ・看護師間及び他職種とのコミュニケーションを図る。
- ・常に業務の見直しを行う。

### <栄 養 課>

#### ① 目 標

- ・利用者の皆様が食事に楽しみをもち、美味しく安全に食べていただけるよう努める。

#### ② 実施計画

- ・ソフト食を取り入れ、給与栄養目標量に基づいた献立作成を行う。
- ・定期的に栄養ケアモニタリングを実施し、的確な栄養管理を行う。
- ・調理員の資質向上を図るため、外部研修への参加や他施設と情報交換を行う。

### <庶 務 課>

#### ① 目 標

- ・職員が、長く働くことのできる環境づくりをする。
- ・情報を共有し、誰でも同じ対応ができるようにする。
- ・施設の窓口として信頼される対応を心がける。
- ・正確でミスのない業務を行う。

#### ② 実施計画

- ・専門的な知識習得のため、積極的に研修会に参加する。
- ・情報を共有できるよう報告や相談をしっかりと行い、相談するだけでなく自分で判

断し決定できるようにし、自信をもって業務を行う。

- ・作業計画を立て、事前の準備を怠らない。
- ・今年度も引き続き、自分の担当以外の業務も積極的に覚えるようにする。

### (3) ショートステイ（短期入所生活介護）

#### ① 目 標

- ・職員の仕事への自立度を上げ、利用者の皆様・ご家族の生活援助に貢献できるよう努めます。

#### ② 実施計画

- ・職員個人が自分の考えを持ち、それを職員と共有し仕事を進める。
- ・利用者の皆様とそのご家族に、敬意を払って接する。
- ・安心・安全に過ごしていただけるように、体調管理・事故防止に努める。

### (4) デイサービスセンター おおさわ

#### ① 目 標

- ・利用者の皆様が、いつも笑顔で過ごせるように支援する。
- ・ご自宅での生活が、長く続けられるよう支援する。

#### ② 実施計画

- ・利用者の皆様一人ひとりが良い表情で過ごされているか確認をしながら、気付きのアンテナを張る。
- ・利用者の皆様が「どこまででき、どこからできないのか」を見極められる力をつける。
- ・ご自宅の様子を知り、必要な支援を職員同士で考える時間を持つ。
- ・利用者の皆様の「したい」を、可能な限り実施する。

### (5) デイサービスセンター ささら苑

#### ① 目 標

- ・自分で「できる」を大切に、普段の生活のなかで自信が持てるように支援していく。
- ・「主役は利用者」の気持ちを忘れずに、支援する。

#### ② 実施計画

- ・新しい取り組みに挑戦していく。
- ・「できること、できないこと」を見極め、過度な支援にならないようにし、積極的に関わりを持つ。

### (6) 在宅介護支援センター ささら苑

#### ① 目 標

- ・地域や医療職を始めとする多職種と連携・協働し、利用者の皆様の自立支援に向け、専門性を高め、即座に実践行動ができる能力を習得する。

## ② 実施計画

- ・平成 30 年度の制度改正に向け、現在の介護保険制度について整理し、介護・予防・総合事業の細かな内容を熟知する。
- ・市民啓発活動や地域ケア会議など居宅介護支援事業所として、できることへの協力や参加をする。
- ・社会情勢に合わせ、ご利用者の皆様の意向や満足度の把握に努め、事業所の質の向上を図る。
- ・ケアマネジメントプロセスを再確認し、評価することで留意点や今後の学習課題を認識する。

## (7) 能生地域包括支援センター

### ① 目 標

- ・安心して在宅で暮らしていけるように、住民の皆さんに啓発活動を行う。
- ・総合事業における介護予防ケアマネジメント（第 1 号介護予防事業）の適切な実施を行う。
- ・地域ケア会議を開催する。
- ・認知症への理解のため、啓発活動を行う。

### ② 実施計画

- ・地域や地区活動に参加し、住民の皆さんに介護・福祉・保健・医療の情報提供を行う。
- ・7つの公民館と協働で活動できる関係を築く。
- ・自立支援の視点を持ち、ご利用者とご家族から介護予防に取り組む意欲を引き出せるよう、目標を共有する。
- ・ケアマネージャーとの情報交換を行う。
- ・地域リハビリテーション活用事業の検討と活用を図る。
- ・委託にしているご利用者のプランチェックにおいて、自立支援の視点になっているかを確認する。
- ・ケア会議において顔の見える関係づくりをし、資源開発まで十分に話し合う。
- ・地域ケア会議の参集者には、専門職・関係事業所以外にも地区の役職員や民間事業者、こういう人に関わってほしい等、多くの方に参加していただけるよう呼びかける。
- ・認知症サポーター養成講座の開催とともに、認知症の窓口として周知する。
- ・認知症予防活動への協力と支援を行う。
- ・担当地域内のグループホームと、認知症支援について話し合いを行う。
- ・法人職員用に、認知症理解のための養成講座を開催する。
- ・サロン活動支援への協力を、法人職員に働きかける。

## (8) ケアハウスハイツ能生

### ① 目 標

- ・根拠に基づいたケアを実践する。  
(“なぜそのことが必要なのか” の理由を説明することができる。)
- ・利用者の皆様のライフスタイルにあわせた援助を行う。

### ② 実施計画

- ・洞察力を高める。
- ・職員間の連携ミスを防ぎ、情報共有ができるよう、申し送りノートを活用する。相手に分かりやすく伝える方法として、5W1Hを使う。
- ・「ほうれんそう（報告・連絡・相談）」を徹底する。
- ・職員の資質、専門性向上のため、各種研修会に参加する。